

令和5年度 シラバス

教 科	情 報	科 目	情 報 I	学 年	第 1 学年	学 科 類 型	普通科
単位数	2 単位	教科書	高校情報 I Python（実教出版）				
副教材	高校情報 I Python 学習ノート(実教出版)、基礎から始める情報リテラシー(実教出版)						

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 効果的なコミュニケーション、コンピュータやデータの活用について学び、情報社会と人との関わりについて理解を深めます。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切・効果的に活用する力を養います。 (3) 情報と情報技術を活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養います。
------	--

キャリア教育の視点	単純にエンジニアを育成するのではなく、情報社会に関わる社会人を育成します。また、積極的にコミュニティに関わる態度を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1章 情報社会 2章 情報デザイン 3章 デジタル	問題解決の考え方や法規による安全対策、個人情報や著作権等について学びます。 情報デザインと表現の工夫について学び、様々なメディアを通じて効果的なコミュニケーションをとる方法を学びます。 デジタル情報の特徴を知り、数値・文字・音・画像の表現方法や演算の仕組みを学びます。	期末考査
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	4章 ネットワーク 5章 問題解決 6章 プログラミング	ネットワークおよびプロトコル、インターネットやデータベースの仕組みを学びます。 データの処理について学び、時系列分析や回帰分析を用いた実習を行います。 プログラミングの基本を学びます。様々なアルゴリズムを理解し、実装します。	期末考査
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学 期	1月 2月 3月	演習	学んだことを生かし、問題解決のための実習を行います。	学年末考査

学習の方法	週 2 時間の授業では、教科書・ワークノートを中心にした学習とコンピュータを活用した実習を行います。また、知識を学ぶだけでなく、ネットワークの活用などの身近な具体的事例を基に、問題意識を持ちながら情報社会に積極的に参画する態度を養います。
-------	---

評価の仕方	次の 3 つの観点から総合的に評価します。 1 知識・技能：教科書や学習ノートで学んだ事柄がしっかり理解できているか。(定期考査) 2 思考・判断・表現：技術を結び付けて応用し、表現することができるか(定期考査・実習) 3 主体的に学習に取り組む態度：問題解決に向けて情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしているか(自己評価・相互評価、授業や実習の態度)
-------	--

備考	
----	--